

日南町の木彫り職人、杠一司（ゆずりはかずし）さん（82歳）にお話を伺ってきました。

木彫りを始めるまで

日南町の中学校を卒業後、職業訓練校で建築について学びました。昭和25年頃から、多里の大工さんの元で仕事をするようになりました。今は大工仕事をしながら、家業である農家の仕事もしています。

20年ほど前に、町内で木工機械の展示会があり、その際に轆轤（ろくろ）の機会を購入しました。当初はお盆などを作製していました。北海道を訪れた際にフクロウの木彫りをしている人に話を聞くことが出来ました。これをきっかけに自分も木彫りを始め、今でも老後の趣味として制作活動に取り組んでいます。



木彫りの活動と日南町について

フクロウの木彫りには、槐（えんじゅ）という木を使います。鬼という字が示しているように、古来から魔除けにも使われた縁起のいい木です。フクロウは家の周りの害獣を退治する生き物でもあり、また、「福」につながるものでもあります。

日南町、山上地区の大正山に植えられている樹齢100年のヒノキがあります。地区の方より依頼を受け、この木を材料に茶托を制作しました。今後、地域のイベントなどで活用されるとの事で楽しみにしています。

新しく日南町にできる道の駅（道の駅にちなん日野川の郷：4/22 開業予定）でも、木工作品の販売をしたいと思っています。日南町のキャラクター、オッサンショウオの木彫りを、町内の役場・病院・美術館・商工会などに寄贈しました。たくさんの人の目に触れられるようになり、嬉しく思っています。

日南町の山も、間伐整備が進み、目に見えてよくなってきていると感じています。日南町は自然にあふれ、生活もとてもよいものだと思います。若い人にもこの地で色々な体験をして欲しいと思いますし、木彫りについて学びたいという人がいれば、喜んで教えてあげたいです。



事務局より

杠さんは、代表作の木彫りフクロウで、鳥取県主催の平成22年度シニア作品展で奨励賞を受賞された方です。豊かな日南の森林の中で、まちの誇りになる工芸品を製作されており、日南町に元気をくれる唯一の木彫り職人でもあります。これからもご活躍をお祈り致します。